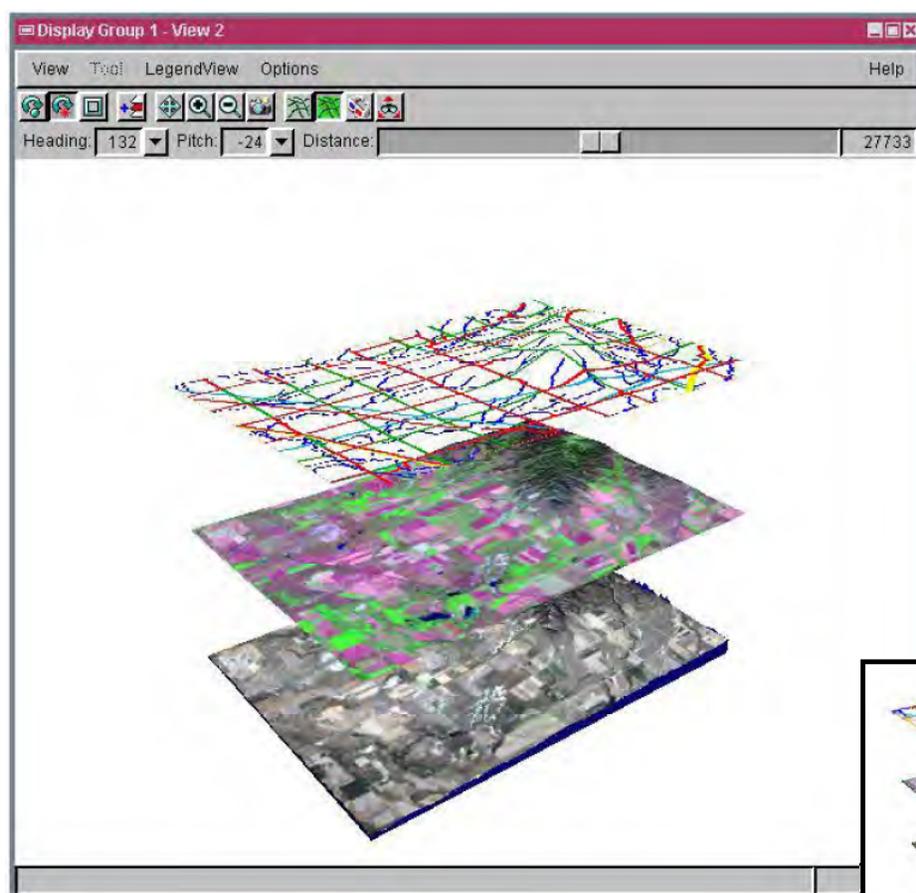


## 3次元レイヤの浮遊(オフセット)表示

ご存知でしたか?... 3次元表示を使って、別々のドレープレイヤを積み重ね表示できます。

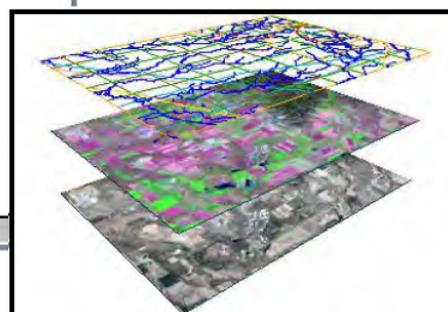
### レイヤを浮遊(オフセット)表示することで...

- 全てのオブジェクトタイプ(ラスタ、ベクタ、シェイプ、CAD、TIN、ピンマップ)を表示できます。
- 複数のラスタオブジェクトを使って地表面レイヤを定義できます。
- 各浮遊(オフセット)レイヤに対して別々のオフセット値を設定できます。
- 視点、距離、縮尺をインタラクティブに設定できます。
- 3次元の視覚化や地物の比較に強力な手段です。



Crow Butte のナチュラルカラー衛星画像、バンド 5-4-2 のフォールスカラー、DLG ベクタの各表示

地表面ラスタを指定しない場合、浮遊(オフセット)3次元レイヤは分解斜視図(exploded perspective view)のように表示されます。



### 浮遊(オフセット)レイヤを利用する方法

- 地表面ラスタを定義するため、1つまたは複数のラスタオブジェクトを追加します。
- 重ねて表示する(ドレープ)レイヤとして、任意の数のオブジェクトを追加します。
- 各ドレープレイヤの〈レイヤコントロール(Layer Controls)〉ウィンドウを開いて、オフセット値を入力します。
- 〈3D視点コントロール(3D Viewpoint Controls)〉ウィンドウを使って、視点の位置、距離、方向、標高スケールを設定します(〈3D視点コントロール〉ウィンドウは、表示ウィンドウ2の[視点コントロール]アイコンを押すと表示されます)。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください:

3次元鳥瞰図による視覚化  
(3D Perspective Visualization)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
紀伊国屋ビル 1F  
Tel: (03)3623-2851  
Fax: (03)3623-3025  
E-mail: info@opengis.co.jp

